

ヴィラージュ中原 運営推進会議議事録

◇開催日時 2025年9月22日(火)15:00～16:05

◇開催場所 ヴィラージュ中原 地域交流室

◇出席者 老人クラブ常和会:小見山会長、横田副会長、太田氏

中原区地域みまもり支援センター:藤本職員

地域包括支援センターこだなか:星CM

よろこび久末:吉田管理者、梅村 SC、田村 CM

事務局:福芝施設長、山口 SC、越智SC

議題

1. 看多機の運営状況及び広報について
2. 令和7年度事業の進捗について
3. 地域連携の取組みについて
4. その他

議事内容

■議題1：看多機の運営状況及び広報について

話された内容

ヴィラージュ中原の看護小規模多機能型居宅介護（看多機）の運営状況について報告がありました。現在の登録者数は14名で、新規の受け入れはあまり変化がない状況です。

短期利用は1名から2名程度の利用者が継続して利用しています。

登録者の中には、通所が困難な方もおり、訪問看護を利用しながら継続利用している事例があります。相談については、新規の相談はあまりないものの、既存の利用者は同じような内容で継続利用しています。

広報活動については、施設のホームページに情報を掲載しています。また、「よろこびだより」という広報誌を配布し、夏祭りの写真や職員の異動情報、料金改定のお知らせなどを掲載しています。料金改定については、朝食代と洗濯代をそれぞれ100円値上げすることを10月1日から実施する予定です。

訪問看護ステーションについても紹介しており、看多機の利用者だけでなく、地域住民の看護ニーズにも24時間365日対応していることをアピールしています。

結論

看多機の運営は安定しており、既存の利用者が継続して利用している状況です。新規の受け入れについては課題があるものの、訪問看護などを活用しながら柔軟に対応しています。

広報活動については、ホームページや広報誌を通じて情報発信を行っており、特に訪問看護ステーションの利用促進に力を入れています。

料金改定については、10月1日から朝食代と洗濯代を各100円値上げすることが決定しました。

■議題2：令和7年度事業の進捗について

話された内容

生活支援体制整備事業の一環として、生活支援コーディネーター（SC）の活動報告がありました。主な活動内容は以下の通りです：

- ・ 11月8日に「地域における認知症の理解と支え合い」をテーマとした認知症公開講座を開催予定
- ・ 8月22日に産業振興会館で開催された生活支援コーディネーター研修会に参加
- ・ 9月16日に中原市民館で開催された認知症をテーマとしたイベントに参加
- ・ ごうじいこいの家でのイベント（ごうじ体操、脳トレ）、新庄いこいの家でのボッチャなどに参加
- ・ 個別支援の事例として、近隣の高齢者の見守り活動を実施

SCの活動に関して、地域住民からは「業者の宣伝ではないか」という誤解を受けることもあり、市の活動であることの理解を得るのに苦労している状況が報告されました。

結論

生活支援コーディネーターの活動は、地域のイベントへの参加や個別支援を通じて徐々に浸透しつつあります。しかし、まだ地域住民への認知度が低く、活動の目的や意義を理解してもらうことが課題となっています。

今後は、より多くの地域イベントに参加し、顔の見える関係づくりを進めていくことが重要です。また、SCの役割や活動内容について、わかりやすい広報活動を行う必要があります。

■議題3：地域連携の取組みについて

話された内容

地域連携の取組みとして、以下の活動が報告されました：

- ・ 上小田中保育園との連携：10月20日に園児と入所者の運動会を開催予定
- ・ 駄菓子屋の開催：オープン以来31回開催し、延べ2,747名（1回平均88名）が来店。子どもたちが7-8割、入居者も10名前後が毎回参加
- ・ 「るるぶ中原区シニア版」の取材：駄菓子屋での入居者の様子を撮影・取材
- ・ 子育てサロン「C o c o クラブ」の開催：月1回、第4木曜日に交流室で実施
- ・ 地域行事への参加：盆踊り大会、公園清掃、関神社例大祭など

防災に関する取組みとして、町会の自主防災組織との連携を検討していることが報告されました。

結論

様々な地域連携の取組みを通じて、施設と地域とのつながりが徐々に深まっています。特に駄菓子屋の開催や子育てサロンの実施は、多世代交流の場として機能しています。

今後の課題として、防災面での地域との連携強化が挙げられました。町会の自主防災組織との協力体制を構築していく必要があります。

■議題4：その他

話された内容

中原区役所からの情報提供として、以下の内容が共有されました：

- ・ 「ご近所さんぽ 大戸エリア版」チラシの配布：地域のイベント情報をまとめたチラシを作成し、ポスティングを実施
- ・ ヴィラージュ中原の認知症公開講座、みんなの駄菓子屋の紹介記事掲載
- ・ 「ご近所フィッシング」イベントの開催：60代～80代の男性を対象に、多摩川での釣りイベントの記事掲載

- ・ 高齢者向け「チャイカフェ」の開催：近隣町会にて10月3日から月1回、第1金曜日に開始予定

また、町会でのAED（自動体外式除細動器）購入の検討について意見交換がありました。AEDの使用法講習の必要性や、野球部での活用案などが議論されました。

結論

区役所主催のイベントや地域情報の発信について、積極的に協力していくことが確認されました。

町内会におけるAEDの購入については、使用法の講習を含めて検討を進めるとともに、具体的な購入や運用方法については、町会の定例会などで引き続き議論していくこととなりました。

まとめ

1. 看多機の運営状況と広報活動
 - ・ 登録者数は14名で安定運営中
 - ・ 10月1日から朝食代と洗濯代を各100円値上げ
 - ・ 訪問看護ステーションの24時間365日対応をアピール
2. 生活支援コーディネーター（SC）の活動
 - ・ 地域イベントへの参加や個別支援を実施
 - ・ SCの役割や活動内容の周知が課題
3. 地域連携の取り組み
 - ・ 保育園との交流、駄菓子屋の開催、子育てサロンの実施など多様な活動を展開中
 - ・ 防災面での地域との連携強化が必要
4. その他の取り組み
 - ・ 区役所主催のイベント情報の共有と協力
 - ・ AED購入の検討と使用方法講習の必要性

その他特記事項

- ・ 次回の運営推進会議は11月25日（火）15時から開催予定
- ・ 施設の相談窓口の周知方法について、より分かりやすい案内を検討する必要がある
- ・ 地域住民に対して、施設の敷居の高さを感じさせないような工夫が求められる